

わたしたちが運ぶのは未来です



**運輸省**



# みなと しみず

**発行所**

第五港湾建設局  
清水港湾工事事務所  
御前崎港事務所  
下田港事務所



**静岡地域**      みなとを考える  
**市町村長懇談会**



**伊豆地域**      みなとを考える  
**市町村長懇談会**

「みなとづくり」に活かす港湾・海岸整備の促進を目的として開催されたものです。各市町村からの出席は表（次のページ）のとおりです。

両懇談会とも、清水港湾工事事務所の藤田所長の司会により進められ、中村第五港湾建設局長の挨拶の後、上西沿岸整備調整室長から平成11年度予算概算要求説明等がなされました。その後、藤田所長から事前調査にもとづき作成した資料に沿って「各地域の市町村が抱える問題点と共通課題」の説明があり、伊豆地域については、同地域のなかで観光の占めるウエイトの大きさに鑑み、今後の港湾整備にあたっては、特に「地域

去る10月19日（月曜日）熱海市のKKRホテル熱海にて「伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会」が、また、11月10日（火曜日）清水市の清水マリニビルにて「静岡地域のみなとを考える市町村長懇談会」が開催されました。

この懇談会は昨年引き続き開催されたもので、港湾所長から問題点・課題に対する意見や要望が活発に出され、時々中村局長からも見解が述べられるなど、時間の経つのが早く感じられる懇談会となりました。また、両懇談会当日には、多数の報道関係者が取材に訪れ、テレビカメラや写真の撮影、各市町村長の意見・要望をメモするなど、5時近くまでの熱心な取材が続きました。

伊豆地域の懇談会の最後には、伊豆地域の各市町村が抱える個別問題等について、藤田所長から地元清水港湾工事事務所としての回答・見解が示されるとともに、静岡県からも港湾管理者としての見解が述べられました。また、静岡地域の各市町村が抱える問題等については、中村局長及び丸山企画課長から五建としての回答・見解が示され、意義ある懇談会が無事終了しました。

としての統一性を確保しながら各港湾の個性の尊重が重要であり、そのための各港湾間の情報交換が必要」であると強調されました。また、静岡地域については、「物流機能の充実と港湾環境の重視」が今後のキーワードであろうとの発言がありました。藤田所長の説明を受けて、各市町村長から問題点・課題に対する意見や要望が活発に出され、時々中村局長からも見解が述べられるなど、時間の経つのが早く感じられる懇談会となりました。また、両懇談会当日には、多数の報道関係者が取材に訪れ、テレビカメラや写真の撮影、各市町村長の意見・要望をメモするなど、5時近くまでの熱心な取材が続きました。

**静岡地域・伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会 開催**

静岡地域のみなとを考える市町村長懇談会 出席者名簿

(敬称略)

機関名	役 職	氏名	機関名	役 職	氏名
清水市	助 役	吉田 忠	大井川町	建設経済担当参事・建設課長	大塚道雄
	経済部次長	伊藤 勲	榛原町	町 長	大石哲司
富士市	市 長	鈴木清見	舞阪町	町 長	河合重雄
	市長随行	杉山幸宏	新居町	町 長	片山茂生
相良町	港湾課長	畑 勝巳	静岡県	土木部長	岡野真久
御前崎町	町 長	下村源一		土木部次長(港湾担当)	渡邊次郎
	港湾振興室長	澤入春治		港湾課長	磯部峰雄
大井川町	町 長	横山宗男		港湾企画室長	瀧 喬二
	大井川港管理事務所長	杉本光雄			

伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会 出席者名簿

(敬称略)

機関名	役 職	氏名	機関名	役 職	氏名
沼津市	市 長	斎藤 衛	南伊豆町	助 役	鈴木史鶴哉
	振興課経済企画室長	室伏孝修		建設課長	外岡捷美
	秘書課課長補佐	後藤俊晴	松崎町	助 役	山本茂夫
熱海市	市 長	川口市雄	土肥町	町長	大木一清
	建設部長	増井朋司		建設課長	永岡英章
	建設部参事	一杉佳一	賀茂村	村長	山本正和
伊東市	市 長	鈴木藤一郎	静岡県	土木部次長(港湾担当)	渡邊次郎
	企画部参事	木部享一		港湾課長	磯部峰雄
下田市	市 長	池谷 淳		港湾企画室長	瀧 喬二
	建設課長	塩澤一光			



**変貌する清水港  
日の出地区**

清水市は21世紀を目指す都市ビジョンとして、海・人・まちが共存する「国際海洋文化都市」をマリンピア清水の創造Ⅱを定め、これに沿って各種のプロジェクト事業が進められています。その中の一つ日の出地区再開発事業が現在急ピッチで進行中です。

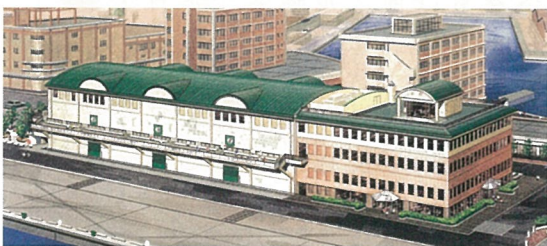
(上写真)は、第二次世界大戦の復興も終わり、昭和36年から始まった第一次港湾整備五ヶ年計画のまっただ中、日の出地区の整備も急ピッチに進められています。特に目をひくのは、今は少なくなった船がたくさん係留されていることと、倉庫がところ狭しと乱立している光景ではないでしょうか。



それに比べ平成10年11月の日の出地区(右写真)は、水際線もすっきりとしており、船・倉庫のかわりにレジャーヨット・海辺と親しむ緑地公園が

一際目立ちます。昭和38年当時に比べ雑然とした港湾の様相が一変しているのがわかります。これが、市民に広くみなとに親しんでもらうための「日の出地区再開発事業」なのです。

この事業は、清水市が昭和60年度に基本計画を策定し、国・県・市・民間等が一体となって進めているものであり、これまでにレストランの「ベルジュ35」、「フェルケール博物館」、イベント広場の「清水マリナーパーク」等が完成し、市民はもとより皆さんの観光客にも親しまれています。現在は、老朽化した日の出岸壁6号上屋を解体し、その跡地に「旅客ターミナル」「多目的ホール」「オフィス」「防災施設」等の機能を有するまさに多目的の上屋が建設中です。また、民間企業により、複合商業ビル「清水フェス



多目的上屋イメージ図



複合商業ビル イメージ図

### 台風10号の猛威

10月18日の未明、清水港に停泊していたパナマ船籍の冷凍貨物運搬船(1,987トン)が台風10号の影響による高波に流され、興津川河口付近の海岸に乗り上げる事故が発生しました。

当日は台風一過の晴天、普段静かな興津の町が大勢の見物人で賑わい、ラーメン屋も出るありさまだったとのこと。台風による海象の状況を当事務所の計器による記録で見ると、18日朝6時に最大瞬間風速21m・最大波高3.3m・気圧998hpaとなっており、その猛威の程がよくわかります。心配された港湾施設への影響はなかったものの、思いもかけぬ船舶の座礁に職員一同おどろくやらほつとするやら…。

座礁した貨物船は10日後、2隻のタグボートに曳かれ無事海にかえり、突然出現した興津名物もつかの間の出来事となりました。



### フランスフェア 「羽衣まつり」

古典芸術の能楽「羽衣」に心酔し、故国フランスで「羽衣能」を上演したバレリーナのエレヌ・ジユグラリス婦人を偲んで1984年から始まった追悼式が、今年も去る10月10日、11日に開催されました。その一環として、羽衣の松を背景に、薪の炎に照らし出された舞台上にて薪能「羽衣」が上演されました。



全国的にも羽衣伝説は数ある中、ここ三保は富士山と一体となった絶好の舞台。

夕闇のしじまから時折聞こえる波の音、ほのぼのと燃え立つ篝火、その中で幻想的な薪能が開演されると、全国から集まった大勢のファンからどよめきとともに盛大な拍手が舞い起こるなど、時間を忘れさせる一時でした。

我々の生活は普段「能」とは無縁ですが、初めて目にする「能」の雰囲気にも心も酔いしれること請け合いです。皆さんも来年は是非一度鑑賞されてはいかがでしょうか。

### ◆ 清水の史跡 ◆ 座漁荘 (ざぎょうそう)

明治、大正、昭和の三代にわたり活躍した政治家で最後の元老といわれた西園寺公望公が、大正八年に興津清見寺の海岸に建てた別荘です。

公は嘉永二年(一八四九年)、右大臣徳大寺家の次子として京都に生まれ、二歳の時に西園寺家の嗣子となりました。明治三年にソルボンヌ大学に留学し帰国後、間もなくして国政に参加し明治二十六年には文部大臣となり、その後二度内閣を組閣し、二度目の内閣の総辞職の際、元老待遇の勅語を受けました。



明治村にある座漁荘

西園寺公は大正五年に興津へ来て清見潟の自然と温暖な気候に魅せられ、同八年七月に百四十坪の敷地を購入し、京風数寄屋造りで純和風建築の木造二階建て(建坪八十坪)を建てました。建築費は当時のお金で一萬七千円でした。

そこでは代々の首相や政府の高官が政談を交わし「興津詣で」の言葉さえ生まれました。以来、西園寺公は二十余年この地で暮らし昭和十五年十一月に九十一歳で没しました。「座漁荘」は記念館として市民に親しまれてきましたが老朽化のため昭和四十六年三月、愛知県犬山市の明治村に移設され、今も大切に保存されています。当時の「座漁荘」の跡地には「座漁荘の跡の碑」とともに西園寺公記念館が建てられています。

### 予定価格の積算内訳の公表について

運輸省港湾局では、港湾土木工事を対象に、12月1日以降の入札工事から予定価格の積算内訳を契約締結後公表することとなりました。

当工事事務所分について閲覧できますので、ご希望の方どうぞお越し下さい。

### 御前崎港だより ドリーム'98

御前崎港シーサイドドリーム'98は、御前崎町民総参加による海と風を生かした産業振興・地域活性化を図るために行われるイベントで、10月10日(土曜日)11日(日曜日)の2日間開催され、6万人の参加者で賑わいました。当所御前崎港事務所においても、所長が推進委員、事務係長が実行委員となり、このイベントを積極的に協力してきました。

二日間の各種イベントの中で、当事務所としては二日目の監督測量船「ふじ」による体験乗船会を開催、1サイクル約30分程度の港内見学と港湾整備の説明を計9回実施、総勢180名の方に御前崎港を体験していただきました。遠くは東の箱根、西は名古屋から足を運ばれた方もあり、御前崎港の港湾整備の説明を熱心に聞き入る熟年カップル、荒波のためジェットコースターのように上下する船に歓声を上げる家族連れ、船のイースにしがみつく子供達、普段あまり船に乗る機会がないことから、忘れられない御前崎港の体験乗船会になったことと思えます。

現在、下田市では(財)下田振興公社が中心になり「下田市花いっぱい運動」が展開されています。下田市内の学校、公園、道路の外市内の空地を活用して四季折々の花を植え環境改善を行う運動ですが、下田港事務所もこの運動に参加し敷地内の花壇で花を育てていることを紹介します。

下田港事務所周辺は新島、式根島、神津島へ向かう神新汽船の発着場や下田市内から海中水族館方面につながる遊歩道に隣接していることや、近くに鶴島防波堤もあることから散歩する市民をはじめ、多くの観光者、釣り人などが一年を通じて行き交う所です。

**下田港だより**  
**下田市花いっぱい運動の推進**



事務所前には小さな花壇があります。灌木と雑草が生い茂り、空き缶やゴミが捨てられ決して見栄えの良いものではありませんでした。この4月から採用になった女性(非常勤職員)が花が好きで、事務所内はもとより花壇の手入れも始めたことからこの運動に参加することになりました。花の苗は下田振興公社か



第一段状況写真

ら提供してくれれます。第一段として、6月末にポット苗でいただいた夏花のモスローゼ(スベリヒユ科)が咲き誇り、その他にもペチュニア(ナス科：日本名ツクバネアサガオ)も咲いて、行き交う人々の目を楽しませてくれました。現在、第二段として、パンジー、葉牡丹(アブラナ科の一年草)を10月末に頂き植え替えたところ。12月から5月頃

にかけ紫と白色の花が咲き誇る予定です。



第二段状況写真

**清水港への入港 客船・帆船案内**

- につぼん丸(客船) 12月14日~15日(出港入港) サンタクルース
- ばしかいっくびなす(客船) 12月16日~17日(出港入港) クリスマスクルース
- 鶴洋丸(練習船) 航海訓練 12月17日~18日
- 新さくら丸(客船) 12月27日~1月7日(出港入港) 第31回静岡県青年の船
- アスター(外船(客船) 自主クルース 3月14日
- ばしかいっくびなす(客船) 3月24日~25日(出港入港) 第14回洋上テレビ寺小屋

**人事異動**

平成10年12月1日付

氏名	発令事項	現職
打田弥生	名古屋港空	庶務係

**管内の動き**

- 8月**
- 1 巡視船するが体験航海
  - 2 清水マリノフェスティバル開会式
  - 2 だっくら祭り
  - 2 海上安全、大漁祈願並びに海難者漁族供養
  - 6 マタイの体験放流
  - 7 御前崎港視察(白羽小学校職員)
  - 7 下田港視察(神奈川県大磯町)
  - 10 下田防災会議
  - 10 下田港視察(東京大学生産技術研究所学生)
  - 12 清水海上保安部防災訓練打合わせ
  - 19 中部運輸局長との懇談会
  - 21 清水港開港100周年記念事業委員会
  - 26 静岡県生コンクリート品質管理監査会議
  - 30 空き缶回収禁止キャンペーン
- 9月**
- 1 防災訓練
  - 1 五建情報処理システム一般研修
  - 2 御前崎シーサイドドリーム実行委員会
  - 2 日の出開発商業施設棟地鎮祭
  - 3 清水建設業協会会典
  - 3 清水地方行政連絡協議会
  - 8 港湾CALSワーキンググループ
  - 9 五建情報処理システム管理者研修
  - 10 コンテナ流動調査説明会
  - 12 管内野球大会
  - 17 工事安全担当者会議
  - 24 地域防災に係る関係団体連絡促進会議
  - 25 JICA作業管理委員会
  - 25 労働省との連絡調整会議
  - 29 局内港湾計画会議

**10月**

- 29 中部運輸局長懇談会
- 1 清水港視察
- 6 静岡団体清水市準備委員会設立総会
- 8 積算電算研修
- 9 御前崎シーサイドドリーム
- 10 監督測量船ふじ体験乗船
- 10 羽衣まつり
- 12 港湾関係実務連絡協議会
- 12 東海地区港湾整備促進大会
- 12 下田商工会議所創立50周年記念委員会大会
- 14 清水港湾機関長会議
- 16 下田花いっぱい運動」に参画(二回目)。事務所花壇の美化推進
- 17 フェルケル博物館展示会開会式
- 19 伊豆地域のみなごをえる市町村長懇談会開催
- 19 港湾専門技術者研修
- 21 港湾技術研究会
- 22 御前崎港視察(榎南4町議員)
- 22 JICA集団研修講師
- 27 清水FAZ輸入住宅部材展開会式
- 28 静岡県内訟務研究会例会
- 29 清水港開港100周年記念事業委員会
- 30 清水港湾連絡協議会定例会

**11月**

- 2 運輸大臣外清水視察
- 6 OGD国際人材養成研修講師
- 6 シーサイドドリーム第3回実行委員会
- 10 静岡地域のみなごをえる市町村長懇談会
- 12 建設副産物対策連絡協議会
- 13 帆船「日本丸」練習船「青雲丸」寄港歓迎セレモニー
- 13 御前崎港視察(志太様原郡監査員)
- 14 清水ウォーターフロントフェア・しみず生活環境フェアオープニングセレモニー
- 18 清水港湾協議会講演会
- 26 管内主管部長会議

※発行所  
清水港湾工事事務所  
〒424-0022 静岡清水市日の出町七二  
TEL (〇五四三) 五二一四一四六(代)